



2023年5月15日

各位

会社名 株式会社ゼネテック
(コード番号: 4492 東証スタンダード)
代表者名 代表取締役社長 上野 憲二
問合せ先 上席執行役員経営企画部長 岡田 剛
(TEL 03-6258-5612)

法人税等調整額（益）の計上および連結業績予想と実績の差異ならびに 個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期において、法人税等調整額（益）を計上するとともに、2023年2月14日に公表した2023年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたこと、さらに、通期個別業績において前期実績との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 法人税等調整額（益）の計上

当社は、現時点での将来の課税所得を見積もり、繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、回収が見込まれる部分について、法人税等調整額（益）19百万円を計上いたしました。

2. 通期連結業績予想と実績との差異

(1) 2023年3月期通期連結業績予想と実績との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,730	39	33	6	1.55
実績 (B)	5,864	105	111	23	6.30
増減額 (B-A)	134	66	78	17	
増減率 (%)	2.3	171.5	238.3	296.0	
参考：前期実績 2022年3月期	4,683	190	254	56	15.19

(2) 差異理由

デジタルソリューション事業において、想定より開発案件の進捗度が進んだこと等による3月度売上の増加により、売上高は2023年2月14日開示の業績予想数値より134百万円増加し5,864百万円となりました。また、営業利益につきましては、売上の増加に伴う売上総利益の増加および経費削減施策を実施したことから業績予想数値より66百万円改善し105百万円となりました。経常利益につきましては、業績予想値より78百万円改善し111百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は業績予想値より17百万円改善し23百万円となりました。

3. 通期個別業績と前期実績との差異

(1) 2023年3月期通期個別業績と前期実績との差異 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	4,629	188	264	72	19.34
当期実績 (B)	5,569	111	153	88	23.53
増減額 (B-A)	939	△77	△110	16	
増減率 (%)	20.3	△41.0	△42.0	23.1	

(2) 差異理由

売上高につきましては、デジタルソリューション事業の順調な売上増加およびエンジニアリングソリューション事業の3次元シミュレーションソフトウェア「FlexSim」の売上増加が寄与し、前期比939百万円増の5,569百万円となりました。営業利益につきましては、人員増強および知名度向上のためのプロモーション活動等を行ったため、前期比77百万円減の111百万円となりました。経常利益につきましては、前期比110百万円減の153百万円に、また、当期純利益につきましては、前期比16百万円増の88百万円となりました。

以 上